

発掘成果の公開等

- ・10月17日（土）・18日（日）に上野原縄文の森で実施された「縄文の森秋まつり」において、今年度の発掘調査成果の一部を紹介しました。
- ・発掘調査は随時公開しています。詳しくは埋蔵文化財調査センターへお問い合わせ下さい。

（平成27年度下半期の主な実績）

遺 跡 名	月 日	名 称
春日堀遺跡	9月8日	大崎町だいまる女性講座遺跡見学
	9月11日	大崎町のがた女性講座遺跡見学
	9月29日	蓬原小学校 6 年生遺跡見学
	10月19日	通山小学校 6 年生遺跡見学
	11月10日	野神小学校 6 年生遺跡見学
	12月5日	現地説明会
川久保遺跡	9月8日	曾於市教育委員会遺跡見学
	10月6日	伊仙町学芸員遺跡見学
小 牧 遺 跡	11月7日	現地説明会
牧 山 遺 跡	11月25日	縄文時代後期の環状の柱穴群についての記者発表



発掘体験の様子（春日堀遺跡）



NHKの取材の様子（牧山遺跡）

土器や石器などの写真はここで撮っています



土器の撮影の様子

当調査センターでは、整理作業を実施した出土品を記録するため、県立埋蔵文化財センターの写場で遺物の撮影を行っています。大昔の人々が土器に付けた文様や土器そのものの形などが表現できるよう、撮影する際は光の当て方や角度などを工夫して、土器のもつ雰囲気を大事にしながら撮影しています。また、撮影されたモノクロフィルムは暗室でフィルム現像、プリントまで行います。



スタジオ内の様子



暗室の様子



プリント作業

センター長室から

センターが開設して3年が終わろうとしています。発掘調査の迅速化・効率化に努めながら、よりよい調査と報告書への反映をめざしています。また、民間の発掘調査支援業務委託の積極的な導入により事業を推

進んでいます。走りながら考えるといった状況で、毎年課題の解決を図りながら、改善しているところです。こうした変化に職員も問題意識を持ちながらよく精励しています。迅速化で情報整理も進みます。発掘調査の情報をいち早く把握することができ、現場が動いている中で、検証と成果の公表が可能となってきました。

（公財）埋蔵文化調査センターのホームページは、
上野原縄文の森（<http://www.jomon-no-mori.jp>）または、
鹿児島県文化振興財団（<http://www.houzanhall.com/zaidan/>）「上野原縄文の森」
からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検 索

クリック

～かごしまの遺跡～

第9号

発 行 日 平成28年2月29日
編集・発行 （公財）県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL:<http://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail:maibunchosa@tuc.bbq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター



～かごしまの遺跡～

第9号

平成28年2月29日

春日堀遺跡

所在地：志布志市

発掘調査の現場では

こんなことも



①空から見た春日堀遺跡



②現地説明会



③職員の研修



④専門家による指導



⑤整理作業

①はラジコンのヘリコプターで撮影した写真です。発掘調査では、遺跡立地を理解するため、周辺の地形を含めた遺跡全体の写真を撮ります。②は、12月5日に行われた現地説明会の様子です。約350人の参加者がありました。業務の一環として、当センター職員に加え、発掘調査を支援している民間業者の担当者も参加し調査方法等を検討しました（③）。発掘された遺構や遺物の詳細な性格を把握するため、専門家を招聘し指導を受ける（④）こともあります。発掘調査の現場でも、基礎的な整理作業（⑤）を行っています。整理作業は時間がかかりますが、効率よく作業が進むようなこのような取り組みを行っています。

支援業務委託：国際文化財(株)

平成27年度下半期発掘調査状況

小牧遺跡

鹿屋市串良町

小牧遺跡では、縄文時代から古墳時代にかけての遺構や遺物が発見されました。調査で掘り出した土はベルトコンベアやキャリーダンプを使用して効率よく調査区外へ運び出しています。

支援業務委託：新和技術コンサルタント(株)



作業風景



花弁型住居跡



排土運搬

永吉天神段遺跡

大崎町

永吉天神段遺跡では、中世の地下式坑(①・②)が県内で初めて発見され、注目(③)を集めました。発掘現場では、崩落防止等の安全対策のため、大型土のうを設置(④)することもあります。

支援業務委託：(株)パスコ



作業風景



①地下式坑



②専門家による指導



③報道公開風景



④大型土のう設置

川久保遺跡

鹿屋市串良町

出土した遺物を測量機械で座標を記録しながら取上げます(①)。②は、空から遺跡全体の写真(④)を撮るための準備の様子です。発掘作業で出る膨大な土を運び出します(③)。

支援業務委託：(株)埋蔵文化財サポートシステム



①作業風景(遺物取上げ)



②空中写真撮影風景



③排土運搬



④空から見た川久保遺跡

整理・報告書刊行業務 支援委託監理業務

支援業務委託の事業では、適切な調査や運営のために中間検査・監理業務を行っています。整理作業では、業務を本社等の作業所で行うこともあるので、現地で打ち合わせや指導、確認等の監理も実施しています。



牧山遺跡中間検査
支援業務委託：(株)島田組



小牧古墳群中間検査
支援業務委託：大福コンサルタント(株)



町田堀遺跡監理業務(厚木市)
支援業務委託：国際文化財(株)



田原迫ノ上遺跡監理業務(熊本市)
支援業務委託：(株)九州文化財研究所



永吉天神段遺跡監理業務(秦野市)
支援業務委託：(株)パスコ

宮脇遺跡

大崎町

宮脇遺跡では、支援業務委託は行わず、当センターの担当者で発掘調査を行っています。表土や無遺物層は、重機で土を除きます(①)。②の写真から、東九州自動車道がのびていく様子がわかります。



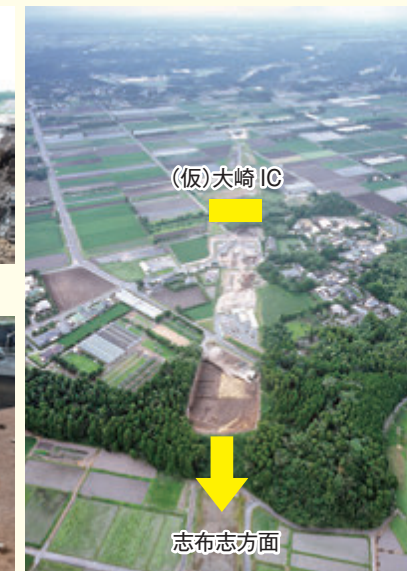
作業風景



①重機による表土の掘り下げ



旧石器時代の遺物



②空から見た宮脇遺跡

整理作業

立小野堀遺跡 所在地：鹿屋市

立小野堀遺跡は、平成24年度から直営による整理作業を行っており、今年度は3名の職員及び16名の作業員で作業を進めています。立小野堀遺跡は古墳時代の共同墓地で、地下式横穴墓190基、土坑墓5基が発見されました。墓の地表部には多くの土器や須恵器の破片があり、現在接合作業が進み、50cm～1mほどの大きさの土器が数多く復元されています。鉄器は400点以上出土し、珍しい異形鉄器も発見されています。



整理作業室



復元作業



実測